

RL78ファミリおよび78K0用 Cコンパイラ CA78K0およびCC78K0 ご使用上のお願い

RL78ファミリおよび78K0用CコンパイラCC78K0およびCA78K0の使用上の注意事項を連絡します。

- 条件演算子についての注意事項 (No.77)

1. 該当製品およびバージョン

CA78K0 V1.20 および V1.21 (統合開発環境CubeSuite+)

CA78K0 V1.10 および V1.11 (統合開発環境CubeSuite)

CC78K0 V4.10 (統合開発環境 PM+)

2. 内容

条件演算子の第2 および 第3オペランドが boolean型の時に誤ったコードを生成します。

なお、sreg変数.bit および 1ビットSFR はboolean型として扱うため、sreg変数.bit または 1ビットSFR の場合も該当します。

発生例 :

```
-----  
[*].c  
__boolean b1;  
unsigned char uc1;  
void func()  
{  
    b1 = (uc1 & 0x80) ? (__boolean)1 : (__boolean)0;  
}
```

3. 回避策

以下のいずれかの方法で回避して下さい。

(1) if文を使う。

```
-----  
if (uc1 & 0x80) {  
    b1 = 1;  
}  
else {  
    b1 = 0;  
}  
-----
```

(2) 第2オペランドまたは第3オペランドを boolean型以外にする。

```
-----  
b1 = (uc1 & 0x80) ? 1 : 0;  
-----
```

4. 恒久対策

CA78K0 V1.30 (統合開発環境CubeSuite+) で改修しました。

詳細はRENASAS TOOL NEWS 資料番号 121101/tn2 を参照ください。

以下のURLでも参照できます。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=121101tn2>

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。